「JP分析で買いサインを作る はじめの一歩」

過去の会報を見てみると、多々JP分析について解説があります。

今回は原点回帰という事で、「買いサインを作るにはどうしたらいいのか」。

これに注目して解説していきます。

ソフトを購入して、「さあ、買いサインを作ってみよう。」はじめの一歩の解説です。

まずJPシートの内容を見ると項目がたくさんあり、めまいがするかもしれません。

何を使えばいいのか・・・と迷う事と思います。

全部使おうと思わず、少しずつ見ていきましょう。

まずは、基本中の基本である株価弾性値に注目します。

ここでは6501日立について買いサインを作っていきます。

6501日立 日足チャート



ここに表示されている指標が、短期弾性値(青色の線 略して短弾)と生短期弾性値(黄 色の線 略して生短弾)です。

買いサインの作り方は、この線と上のチャートを見比べ、ここで買ったら儲かる。というポイントを見つけていきます。

チャート上、どこでもいいので、右クリックすると赤紫色の縦バーが表示されます。

この縦バーを移動させ、ここで買ったら儲かるというポイントを下の短弾、生短弾と見 比べながら調べていきます。

縦バーの移動は、**キーボードの矢印キーやマウスの右ドラッグ(押しながら)**で動きま す。



生短弾(黄色の線)に注目してみると、下限に近いところが、上のチャートで以降上昇 に転じている事が見て取れます。

縦バーを移動させ、このポイントを1つ1つみていきましょう。







この3カ所で買ったらその後、上昇し儲かるという事が見て取れます。

今は、生短弾に注目していますから、この3カ所の数値はいくつなのかを調べていきま す。 「F6」キー、または「条件」-「読み取り」をクリックします。

「条件」とはここです。

 メロチャート:6501(225)日立製作所日足東証ブライム電気機器発行株:924,868千株資本金:462,817百万売買単位(株):100

 機能(1) 種別(2) 条件(3) パー前銘柄(4) 次銘柄(5) 再描画(6) 指標(7) 読込(8) 表示期間(0) 未来チェック(9) 動態分析(a)

 路柄 6501 日立製作所
 2200202 - 240502 - 6 2000 0 マ Scale 0 4

拡大

"	JP	チャ・	- - : e	501(225)	日立製作	作所日	足東	証プライム	電
機能	(1)	種	別(2)	条件(3)	15-	前銘柄	(4)	次銘柄(5))
銘柄	650)1	日立類	製作所	23	0302		240502	+

下記の画面となります。

とりあえず、そのままOKをクリックします。



こうなります。



チャート下に注目して下さい。たくさん数値が出てきています。

この中に今、注目している生短弾がありますので、見つけて数値を調べます。

ここです。

[148]:日[23/10/04] 始[8929] 高[8926] 安[8648] 終[8677] 出[3737.6] 指標[9702.42] 短彈[-3.63] 短弾向き[3] 生短弾[-9.53] 生短理响き[3] 生短7世[5] 短/中彈[5] 高値切上[3] 申弾[-2.88] 中弾向き[3] 生史理[-9.63] 生甲(中向き[3] 生中/中領[5] 短/上環[5] 安値切上[3] 長弾[-0.07] 長弾向き[3] 生長彈[-9.01] 生長弾向き[3] 生年/中領[5] 短/長彈[5] 陽線[3] 足取り5本[13333] MAV[8.35] MAV[95[1] 出来倍[-1.41] 廣大出来高[0] 出来高比率[-1.30] 出来高水準[-2791.34] 短M[-3.21] 短M向き[3] 短M/中M[5] Mカイリ[-1.58] 中M[-1.63] 中M向き[3] RJ[13.76] R J向き[3] 短コスト[7志[0] 短/長コスト位置[5] 展コスト[9558.9] 短コスト[95] M(0-ハ^{*})^{*}[3] 短コスト[9558.9] 短コスト[95] 超[2](上下抜[0] 短/長コスト位置[5] 展コスト[前日安値[-1.07] 短長0C後日柄[-0] 展寄値[上率[-0.85] 最高値日柄[-19] 最高値[上率[-0.85] 最高値[-0.97]終値/寄値[-0.97] 安値更新[-8] 最寄値[上率[-0.85] 最安値[-1.18]終値/高値[-0.97] 安値更新[-0] MACO©[向き[3] MACO©[向き[3] 合格番号[-0]

拡大

[148]	:日 [23/10/	04] 始[8925]] <u>高[8926]安[864</u> 8]終[8677]と	E
短弾[-3.69]	短弾向き[3]	生短弾[-9.53] 生短弾向き[3]	Γ
中弾[-2.98]	中弾向き[3]	生中弾[-10.87] 生中弾向き[3]	
長弾[0.07]	長弾向き[3]	生長弾[-9.01] 生長弾向き[3]	
MAV[8.35]	MAV向き[1]	出来倍[0.00] 最大出来高[0]	
短M[-3.21]	短M向き[3]	短M/中M[5] Mカイリ[1.5	i8
	4 001	H H H H []]		

この数値を書き留めておきます。生短弾[-9.53] -9.53







生短弾[-6.05] -6.05

さらに次のポイントです。



[280]:日[24/04/19] 始[13630] 高[13795] 安[13065] 終[13330] 出[4207.2] 指標[13688.85] 短弾[0.74] 短弾向き[3] 生短弾[-6.5]] 生短弾向き[3] 生短/短弾[5] 短/中弾[5] 高値切上[3] 中弾[4.15] 中弾向き[3] 生長弾[4.67] 生長弾向き[3] 生長/中弾[5] 短/長弾[5] 安値切上[3] 長弾[9.16] 長弾向き[3] 生長弾[4.67] 生長弾向き[3] 生長/東弾[5] 短/長弾[5] 陽線[3] 足取り5本[31331] MAV[8.35] MAV[7] 出来倍[1.70] 最大出来高[1] 出来高比率[1.56] 出来高水準[2641.82] MAV[0.55] 短M向き[3] 短M/中M[5] Mカイリ[3.03] 中M[3.58] 中M向き[3] RJ[32.38] RJ向き[3] M(PM[5] Mカイリ[3.03] 中M[3.58] 中M向き[3] RJ[32.38] RJ向き[3] M(PM^{*})^{*}[5] 短コスト[13975.0] 短コスト向き[5] 短コパト下抜[0] 短/長コスト位置[4] 長コスト[13868.9] 長コスト向き[5] 短コパト下抜[0] 短/長コスト位置[4] 長コスト[13868.9] 長コスト向き[5] 短コパト下抜[0] 短/長コスト位置[4] 長コスト[13975.0] 短コスト向き[5] 短コパト下抜[0] 短/長コスト位置[4] 長コスト[13975.0] 短コスト向き[5] 短辺(1,0] 長司(1,0)] 短長0(後日柄[0] 長コスト/前日奇値[0.98] 短長0(後日柄[7]] 最σ値/最σ値[1.01] 最示値日柄[5] 最σ値/最σ値[0.91] 最σ値[1.12]終値/高値[0.97] 安値更新[5] 最σ値/最σ値[0.91] 最安値[高値[0.87]終値/安値[1.02] 高値更新[0] MACO(の向き[3] MACO20向き[3] 合格番号[0]

生短弹[-6.51] -6.51

これら3つの数値をみて、全て合格する(満たす)値をはじき出します。

-9.53 -6.05 -6.51

-6以下であれば、全て満たす事が分かります。

では、この数値をシートに設定してみましょう。

「F4」キー、または「条件」-「JP法分析シート編集」をクリックします。

機能(1) 種別(2)	条件(3) パー 前銘柄(4) 次銘柄	(5) 再描画(6)
銘柄 6501 日立	」P法分析シート編集(,)	F4
16000	チェック(=)	F5
	読み取り(/)	F6
14000	自動チェック設定	F7
	JP指数をシートへコピー	F8
12000	J P 指数をテキストファイルへ	F9
	売買条件作成	Shift+F1
10000	シミュレーション	Shift+F2

😾 J P チャート:6501(225) 日立製作所 日足 東証プライム 電気機器 発行

このように表示されます。

J P 法分析シート編集	×
1 から 1000 までのシート番号を入力してください。	OK キャンセル
0001	

ここでは150番シートに設定しますので、 ※何番でもいいです。

150 と入力し、OKをクリックします。



150番シートが表示されました。

内容を初期化しますので右にある「初期化」をクリックします。

J P法分析シート 日足用 150	*		<u> </u>	□ ×
コメント				 閉じる
短期弹性值 以上 短期弹性值 以下 中期弾性值 以上	 出来高倍率 以下 最大出来高 周期	最高値・最安値 周期 最高値/最安値 以上 最高値/最安値 以下	出来高水準周期 出来高水準以上 短中M間カイリ以上	
中期弾性値 以下 長期弾性値 以上 長期弾性値 以上	短弾 向き 中弾 向き 長弾 向き	最安値·最高値 周期 最安値/最高値 以上 最安値/最高値 以下	MACD①(4-20) 向き MACD②(5-20) 向き 短M/中M 位置	
MAV指標 以上 MAV指標 以下	MAV 向き 短期M 向き	最高値 周期	生中弾/中弾 位置 生長弾/長弾 位置	初期化
短期M指標 以上 短期M指標 以下	中期M 向き 生短弾 向き	最高値/安値 以下 最安値 周期	株価水準 以上 株価水準 以下	
中期M指標 以上 中期M指標 以下 生镜弾性値 以上	生中弾 向き 生長弾 向き 短コスト 向き	最安値/高値 以上 最安値/高値 以下		
生短弹性值 以下 生中弹性值 以上	長コスト 向き	長コスト/前日安値 以下 長コスト/前日高値 以上		CSV
生中弾性値 以下 生長弾性値 以上	短コスト上·下抜け 0 長コスト上·下抜け 短馬のの後口抽 NLL	長コスト/前日高値 以下 生短弾/短弾 位置		
- 王友婢任他 以下 最安値 周期 最安値比率 以上	短長DC後日柄 以上 短長DC後日柄 以下 短長GC後日柄 以上	終値/高値 以上 終値/高値 以下 終値/安値 以上		
最安值比率 以下 最安值日柄 以上	短長GC後日柄 以下 短弾/中弾 位置	終値/安値 以下 新値_周期		60局12
- 最安値日柄 以下 - 最高値 周期	甲弾/長弾 位置 短弾/長弾 位置	安値更新本数 以上 安値更新本数 以下 高値更新本数 以上	-	_
最高值比率 以下 最高值日柄 以上	高値切り上・下がり 安値切り上・下がり	高値更新本数 以下 足取り・5本設定		
最高値日柄以下 出来高倍率周期 出来高倍率以上	RJ指数 以上 RJ指数 以下 RJ指数 向さ	ハイ・ローバンド 周期 ハイ・ローバンド 向き 短中M間カイリ 以下		

※何か数値が入っていて、使っている番号であれば、別な番号を使用してください。

「はい」をクリックします。



初期化されました。

続けて、先にはじき出した数値、−6以下を入力します。 生短弾の項目を探しだし、以下の項目を見つけてください。

ここです。

JP法分析シート 日足用 150番				- 0	×
コメント					閉じる
短期弹性值以上	R高倍率 以下 、出来高 周期 、出来高か?	最高値·最安値 周期 最高値/最安値 以上 最高値/最安値 以下	出来高水準 周期 出来高水準 以上 短中M間カイリ 以上		印刷
中期弾性値 以下 短弾 長期弾性値 以上 中弾 長期弾性値 以下 長弾	単 向ぎ 単 向ぎ 単 向ぎ	最安値·最高値 周期 最安値/最高値 以上 最安値/最高値 以下	MACD①(4-20) 向き MACD②(5-20) 向き 短M/中M 位置		変更
MAV指標 以上 MAV指標 以下 短期 期 加 指標 以下 中期 本 地 本 本 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	.∨ 向き 別M 向き 別M 向き	最高値 周期 最高値/安値 以上 最高値/安値 以下	生中弾/中弾 位置 生長弾/長弾 位置 株価水準 以上		保存
· 短期M指標 以下 生枝 中期M指標 以上 生t 中期M指標 以下 生長		取女値 向期 最安値 / 高値 以上 最安値 / 高値 以下	_ 休恤水华 以下 		一覧表
	AFT 1020 1スト 向き イ長コスト 位置	長uki/前日文値以下 長uki/前日安値以下 長uki/前日高値以上			CSV
	12ト上・下抜け BDC後日柄 以上				取込
	BGC後日柄 以上 BGC後日柄 以上 BGC後日柄 以下				→括
	¥/ 于肂 位置 単/ 長弾 位置 単/ 長弾 位置	新福马高频 安値更新本数 以上 安値更新本数 以下			
	* Parlor: 直切り上・下がり 直切り上・下がり 指数 N L	同語ス和平数 以上 高値更新本数 以下 足取りら本設定			
出来高倍率 周期 RJi 出来高倍率 以上 RJi	指数 指数 均下 指数 向さ	ハイ・ローバンド 向き 短中M間カイリ 以下			É

-6と入力します。

JP法分析シート 日足用 150	*			×
コメント				閉じる
短期弾性値 以上 短期弾性値 以下	出来高倍率 以下 日本市内市 日本市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内市内	最高値·最安値 周期 出来高水準 最高値/最安値 以上 出来高水準 出来高水準	周期	白刷
中期弹性值 以下) 広工)) 向き)) 向き	変更
 長期弾性値 以下 MAV指標 以上 MAV指標 以下 	長弾 向ぎ MAV 向ぎ 短期M 向ぎ	最安値/最高値 以下 短M/中M 最高値 周期 生中弾/中弾 最高値/安値 以上 生長弾/長弾	位置 □ 位置 □ 位置	初期化
短期M指標 以上 短期M指標 以下 中期M指標 以上	中期M 向き 生短弾 向き 生中弾 向き	最高値/安値 以下 株価水準 最安値 周期 株価水準	以上 以下	保存
生中弹性值 以上	レコスト 回る 短/長コスト 位置 短コスト上・下抜け	長-XAF/ 前日安値 以下 長-XAF/ 前日高値 以上 長-XAF/ 前日高値 以下	_	
生長弾性値以上 生長弾性値以下 最安値周期	長⊐スト上・ト扬ナ 短長DC後日柄 以上 短長DC後日柄 以下	」 王冠弾/ 短弾 (位置 「終値/ 高値 (以上 「 終値/ 高値 (以下	_	
最安値比率 以上 最安値比率 以下 最安値日柄 以上	短長GC後日柄 以上 短長GC後日柄 以下 短弾/中弾 位置	終値/安値 以上 終値/安値 以下 新値 周期	_	ED刷2
最安値日柄 以下 最高値 周期 最高値比率 以上	中弾/長弾 位置 短弾/長弾 位置 陽線·陰線?	安値更新本数 以上 安値更新本数 以下 高値更新本数 以上		
最高値比率 以下 最高値日柄 以上 最高値日柄 以下	高値切り上・下がり 安値切り上・下がり Ru指数 い上	高値更新本数 以下 足取り・5本設定 ハイ・ローパンド 周期		
出来高倍率 周期 出来高倍率 以上	RJ指数 RJ指数 向き	ハイ・ローバンド 向き 短中M間カイリ 以下		

短期弹性值 以上 短期弹性值 以子 中期弹性值 以子 長期弹性值 以子 長期弾性值 以子 MAV指標 以子 短期M指標 以子 短期M指標 以子	
中期M指標 以上 中期M指標 以下	
<u>生短弹性值 以上</u> 生短弹性值 以下	6
- 生中弹性值 以上 - 生中弾性値 以了 - 生長弾性値 いい	
	₹┝────┤:

ここに-6と入力します。

そしてシートを保存します。

右列にある「保存」をクリックします。

✔ JP法分析シート 日足用 150番	□ ×
איאב	開じる
短期弹性值以上 出来高倍率以下 最高值·最安值周期 出来高水準周期 短期弹性值以下 最大出来高周期 最高值/最安值以上 出来高水準以上	 印刷
中期弾性値 以上 設大出来高か? 最高値 設て値、 短中/M指力/リ 以上 中期弾性値 以下 短弾 向き 最安値・最高値 周期 MACDQ(4-2Q) 向き 長期弾性値 以上 中弾 向き 最安値/最高値 以上 MACDQ(4-2Q) 向き	変更
長期弾性値 以下 長弾 向き 最安値/最高値 以下 短M/中M 位置 MAV指標 以上 MAV 向き 最高値 周期 生中弾/中弾 位置 MAV指標 以上 MAV 向き 最高値 原向 生中弾/中弾 位置	初期化
	保存
平規M指標 以上 生平弾 1018 酸安値 /高値 以上 中期M指標 以下 生長弾 向き 最安値 /高値 以下 生短弾性値 以上 短コスト 向き 長コスト/前日安値 以上	一覧表
生短弾性値 以下 -6 長コスト 向ぎ 長コスト/前日安値 以下 生中弾性値 以上 短/長コスト 位置 長コスト/前日高値 以上	
生長弾性値 以上 長コスト上・下抜け 生短弾/短弾 位置 生長弾性値 以下 短長DO後日柄 以上 終値/宮値 以上 長マは 回知 500後日板 以上 80億/宮値 以上	
- 転安値日柄-以上 - 短弾/甲弾 位置 - 新値 周期 最安値日柄-以下 - 中弾/長弾 位置 - 安値更新本数 以上 最高値 周期 - 短弾/長弾 位置 - 安値更新本数 以下	
最高値比率 以上 陽線・陰線? 高値更新本数 以上 最高値比率 以下 高値切り上・下がり 高値更新本数 以下 局高値月柄 以上 安値切り上・下がり 足取り・5本設定	
田高値目柄 以下 出来高倍率 周期 出来高倍率 以上 RJ指数 山下 出来高倍率 以上 RJ指数 向き 日本高倍率 以上 RJ指数 向き 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	

下記の画面となります。

150と数値が入ってることを確認し、OKをクリックします。。



画面が消え、保存されました。

ではチャートの画面に戻って、今設定した 150 番シートをチェック、つまり買いサイン を表示させてみましょう。

この画面であれば、

「F12」キー、または「バー」-「バー消去」をクリックします。



縦バーが消えます。



続けて、買いサインを表示させますので、

「F5」キー、または「条件」-「チェック」をクリックします。

最初のシート入力画面となります。

最初のシート入力画面	×
1 から 1000 までのチェックする最初のシート番号を 入力してください。	OK キャンセル
0001	

150 と入力してOKをクリックします。

最初のシート入力画面	×
1 から 1000 までのチェックする最初のシート番号を 入力してください。	<u>OK</u> キャンセル
150	

次に最後のシート入力画面が表示されます。

150 と入っている事を確認し、OKをクリックします。



※150 と入っていなかったら150 と入力してください。

このようになります。買いサイン(青色の縦線)が表示されました。



上手い具合に、いいところに買いサインが点灯しました。

これから将来6501日立に、この 150 番サインが点灯したら、買いを考えてもいいでしょう。

JP分析ではこのように売買を作っていきます。

はっきりいって地道な作業です。うんざりするかもしれませんが、頑張ってください。

もっと簡単に作る方法は、「売買条件作成」という機能を使えば出来ますが、はじめの 一歩としてはこのような作り方を覚えてください。